※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１４

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	応用英語Ⅰ	2	２年	FACTBOOK English Grammar Advanced

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次既習の文法事項・構文を復習・定着させ、英語で理解・表現するより発展的な力を養います。１年次と同様に例文等の文法項目を確実に覚え、英語のパターンをたくさんインプット並びにアウトプットして、使える英語表現を増やしていきましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ナチュラルスピードで話される英文の内容をおおよそ理解することができる。 ・学校生活や身近なことや興味のあることに関する英文を聞いて、おおよそ内容を理解できる。 ・学習した語句を聞いて、おおよそ内容を理解することができる。	・教科書の文を正確な発音アクセントで音読することができる。 ・教科書の本文について、パラグラフ内の要点や内容のつながりを理解することができる。 ・説明、評論、物語などを、要点を押さえながら読むことができる。 ・図や表から情報を得ることができる。	・与えられた内容について、キーワードをつないで相手に伝わるようにわかりやすくまとめて話すことができる。 ・英語の音声的な特徴や、内容の展開などに注意しながら話すことができる。	・より高度な内容の英語を聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に話すことができ、その理由も表現できる。 ・身近なトピックについて、理由とともに自分の意見を簡単に話すことができる。	・情報や考えについて、簡単な英文を書くことができる。 ・身近なことや興味のあることについて、辞書を使ってまとまりのある文章を書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現文法、言語の働きなどについて理解を深めているかどうか、その知識を適切に活用できる技能を身に付けているかどうかを的確に評価できる方法で実施。	目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で表現できるか。また情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを理解したうえで、表現しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、利き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	第１～３章 文型 第４～５章 時制 第６～７章 完了形	聞くこと	a：モデル文等について聞き、内容を理解している。 b：モデル文等に関する英文や発音の関する語句を聞き、正しく理解している。パートナーが言ったことを正しく理解している。 c：積極的に教材やパートナーの発話を理解しようとしている。	授業中の活動等
		読むこと	a：時を表す表現・完了形の意味や働きの理解を基に、例文を読んで、概要を読み取る力を身に付けている。 b：時を表す表現・完了形の意味や働きの理解を基に、書かれた例文の要点を捉えている。 c：時を表す表現・完了形の意味や働きを理解しようとしている。	定期考査 (ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ)
		話すこと (やりとり)	a：時を表す表現・完了形など学んだ文法や知識を用いて話す技能を身に付けている。 b：モデル例文を英語らしい発音で発話できている。自分のことや与えられた課題について話すことができている。 c：モデル会話に関心を持ち、聞いて、発話しようとしている。積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	授業中の活動等
		書くこと	a：時を表す表現・完了形について理解し、それを応用して表現する技能を身につけている。 b：学んだ文法を応用して、文章を書くことができる。自分のことや与えられた課題について、つなぎの言葉やパラグラフの構成に基づいて高度な文章を書くことができる。 c：間違いを恐れずに、学んだ文法や文章の書き方を応用して、積極的に表現しようとしている。	定期考査 (ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ) ライティング課題
	中間考査			
	第 8～10 章 助動詞 第 11～12 章 受動態 第 13～15 章 不定詞	聞くこと	a：モデル文等について聞き、内容を理解している。 b：モデル文等に関する英文や発音の関する語句を聞き、正しく理解している。パートナーが言ったことを正しく理解している。 c：積極的に教材やパートナーの発話を理解しようとしている。	授業中の活動等
		読むこと	a：助動詞・受動態・不定詞の意味や働きの理解を基に、例文を読んで、概要を読み取る力を身に付けている。 b：助動詞・受動態・不定詞の意味や働きの理解を基に、書かれた例文の要点を捉えている。 c：助動詞・受動態・不定詞の意味や働きを理解しようとしている。	定期考査 (ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ)
		話すこと (やりとり)	a：助動詞・受動態・不定詞など学んだ文法や知識を用いて話す技能を身に付けている。 b：モデル例文を英語らしい発音で発話できている。自分のことや与えられた課題について話すことができている。 c：モデル会話に関心を持ち、聞いて、発話しようとしている。積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	授業中の活動等
		書くこと	a：助動詞・受動態・不定詞について理解し、それを応用して表現する技能を身につけている。 b：学んだ文法を応用して、文章を書くことができる。自分のことや与えられた課題について、つなぎの言葉やパラグラフの構成に基づいて高度な文章を書くことができる。 c：間違いを恐れずに、学んだ文法や文章の書き方を応用して、積極的に表現しようとしている。	定期考査 (ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ) ライティング課題
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

2	第 16～17 章 動名詞 第 18～19 章 分詞 第 20～22 章 比較	聞くこと	a：モデル文等について聞き、内容を理解している。 b：モデル文等に関する英文や発音の関する語句を聞き、正しく理解している。パートナーが言ったことを正しく理解している。 c：積極的に教材やパートナーの発話を理解しようとしている。	授業中の活動等
		読むこと	a：動名詞・分詞・比較の意味や働きの理解を基に、例文を読んで、概要を読み取る力を身に付けている。 b：動名詞・分詞・比較の意味や働きの理解を基に、書かれた例文の要点を捉えている。 c：動名詞･分詞･比較の意味や働きを理解しようとしている。	定期考査 (ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ)
		話すこと (発表)	a：動名詞・分詞・比較など学んだ文法や知識を用いて話す技能を身に付けている。 b：自分のことや与えられた課題について話すことができている。 c：与えられた課題に関心を持ち主体的に、発話しようとしている。	授業中の パフォーマンス テスト
		書くこと	a：動名詞・分詞・比較について理解し、それを応用して表現する技能を身につけている。 b：学んだ文法を応用して、文章を書くことができる。自分のことや与えられた課題について、つなぎの言葉やパラグラフの構成に基づいて高度な文章を書くことができる。 c：間違いを恐れずに、学んだ文法や文章の書き方を応用して、積極的に表現しようとしている。	定期考査 (ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ) ライティング課題
	中間考査			
	第 23～25 章 関係詞 第 26～27 章 パッケージ 表現として の節 第 28～29 章 仮定法	聞くこと	a：モデル文等について聞き、内容を理解している。 b：モデル文等に関する英文や発音の関する語句を聞き、正しく理解している。パートナーが言ったことを正しく理解している。 c：積極的に教材やパートナーの発話を理解しようとしている。	授業中の活動等
		読むこと	a：関係詞・節・仮定法の意味や働きの理解を基に、例文を読んで、概要を読み取る力を身に付けている。 b：関係詞・節・仮定法の意味や働きの理解を基に、書かれた例文の要点を捉えている。 c：関係詞･節･仮定法の意味や働きを理解しようとしている。	定期考査 (ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ)
		話すこと (やりとり)	a：関係詞・節・仮定法など学んだ文法や知識を用いて話す技能を身に付けている。 b：モデル例文を英語らしい発音で発話できている。自分のことや与えられた課題について話すことができている。 c：モデル会話に関心を持ち、聞いて、発話しようとしている。積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	授業中の活動等
		書くこと	a：関係詞・節・仮定法について理解し、それを応用して表現する技能を身につけている。 b：学んだ文法を応用して、文章を書くことができる。自分のことや与えられた課題について、つなぎの言葉やパラグラフの構成に基づいて高度な文章を書くことができる。 c：間違いを恐れずに、学んだ文法や文章の書き方を応用して、積極的に表現しようとしている。	定期考査 (ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ) ライティング課題
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

3	第 30～31 章 否定 第 32 章 疑問詞・ 疑問文 Option さまざまな 表現・話法 等	聞くこと	a：モデル文等について聞き、内容を理解している。 b：モデル文等に関する英文や発音の関する語句を聞き、正しく理解している。パートナーが言ったことを正しく理解している。 c：積極的に教材やパートナーの発話を理解しようとしている。	授業中の活動等
		読むこと	a：否定・疑問文・話法・さまざまな表現の意味や働きの理解を基に、例文を読んで、概要を読み取る力を身に付けている。 b：否定・疑問文・話法・さまざまな表現の意味や働きの理解を基に、書かれた例文の要点を捉えている。 c：否定・疑問文・話法・さまざまな表現の意味や働きを理解しようとしている。	定期考査 (ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ)
		話すこと (発表)	a：否定・疑問文・話法・さまざまな表現など学んだ文法や知識を用いて話す技能を身に付けている。 b：自分のことや与えられた課題について話すことができている。 c：与えられた課題に関心を持ち主体的に、発話しようとしている。	授業中の パフォーマンス テスト
		書くこと	a：否定・疑問文・話法・さまざまな表現について理解し、それを応用して表現する技能を身につけている。 b：学んだ文法を応用して、文章を書くことができる。自分のことや与えられた課題について、つなぎの言葉やパラグラフの構成に基づいて高度な文章を書くことができる。 c：間違いを恐れずに、学んだ文法や文章の書き方を応用して、積極的に表現しようとしている。	定期考査 (ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ) ライティング課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度